

有害プランクトン情報

(令和7年度 - No9)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターでは、プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、東京湾で有害プランクトンの出現状況調査を行っています。今回は12月の調査結果をお知らせします。

- 調査日 沖合漁場 12月 第1回 内湾 (8地点) 12月 2日 内房 (7地点) 12月 2日
 12月 第2回 内湾 (8地点) 12月16日 内房 (7地点) 12月15日
 貝類漁場内 木更津北部地区 12月11日
 富津地区 12月 9日

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 ※ シャットネラ属は1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL, カレニア属は100 細胞/mL以上で注意報を発生します。
 ○ 赤潮 (透明度1.5 m以下, pH8.5以上, 酸素飽和度150%以上) は、見られませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場及び貝類漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・12月 2日	(沖合漁場) アクア南を除く内湾全域	最高密度はアクア北で0.55細胞/mL
・12月11日	(貝類漁場) 木更津北部地区	密度は0.30細胞/mL
・12月16日	(沖合漁場) 内湾全域	最高密度は千葉灯標で0.45細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・12月16日	(沖合漁場) アクア南	密度は0.05細胞/mL
---------	-------------	--------------

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・12月 2日	(沖合漁場) 羽田沖・アクア北・富津	密度はいずれも0.05細胞/mL
・12月16日	(沖合漁場) アクア南・盤洲北・盤洲南	密度はいずれも0.05細胞/mL

3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・12月15日	(沖合漁場) 富津南	密度は0.05細胞/mL
---------	------------	--------------

3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

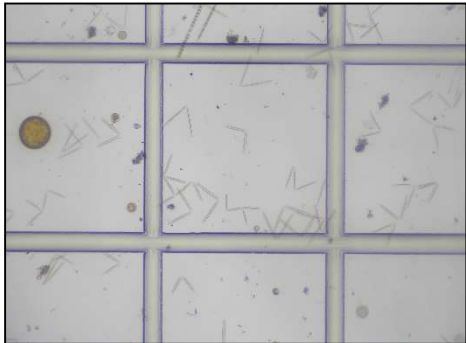
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

12月 2日	内湾	珪藻	スケルトネマ属 など
12月 2日	内房	珪藻	キートセロス属
12月15日	内房	珪藻	タラシオネマ属
12月16日	内湾	珪藻	タラシオネマ属

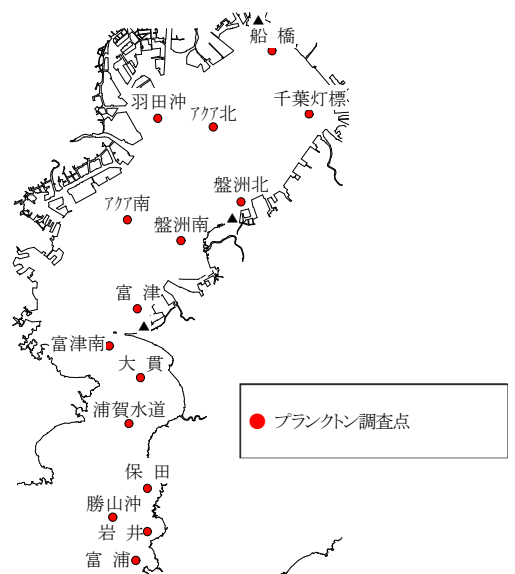


スケルトネマ属など
(12月2日 船橋)



タラシオネマ属など
(12月16日 盤洲北)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091 TEL 0439-65-3071 E-mail wanken@mz.pref.chiba.lg.jp